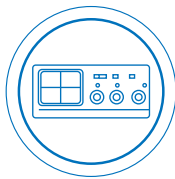


2024 - 2025

P R O F I L E



C O R P O R A T E

IWATSU

 **Ai Holdings Group**

創造と豊かな対話のために

あらゆる人やモノを繋ぐコミュニケーションで、
生きがい溢れる社会創りに貢献する

私たち岩崎通信機は1938年の創業以来、

情報通信・電子計測・印刷システムの各事業分野においてお客様の多様なニーズにお応えし、

あらゆる人やモノを繋ぐコミュニケーションで、

生きがい溢れる社会創りに貢献することを企業理念として歩んでまいりました。

昨今の社会においては、環境問題に対する世界的な関心や多様性を重んじる気運の高まり、

新たな生活様式への挑戦、ネットワーク環境の進展、所有から利用への価値観の変化など、

世の中は速く、そして大きく変容を遂げています。

このような状況の中、これから先も私たちが社会に貢献する企業であり続けるためには、

これまでの既成概念や事業運営に捉われない、

新しい発想力と実行力が不可欠だと考えております。

“IWATSUは生まれ変わる”

その強い思いを込め、2022年度にスタートした4か年の中期経営計画には

「REBORN」と名付け、各施策を達成すべく着実に進めております。

社会の変化に適応し、私たちに関わる全てのステークホルダーに、より多くの価値を提供し、

夢と希望をお届けできるよう全力で取り組んでまいります。

どうかご愛顧を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

代表取締役社長 社長執行役員

木村 彰吾

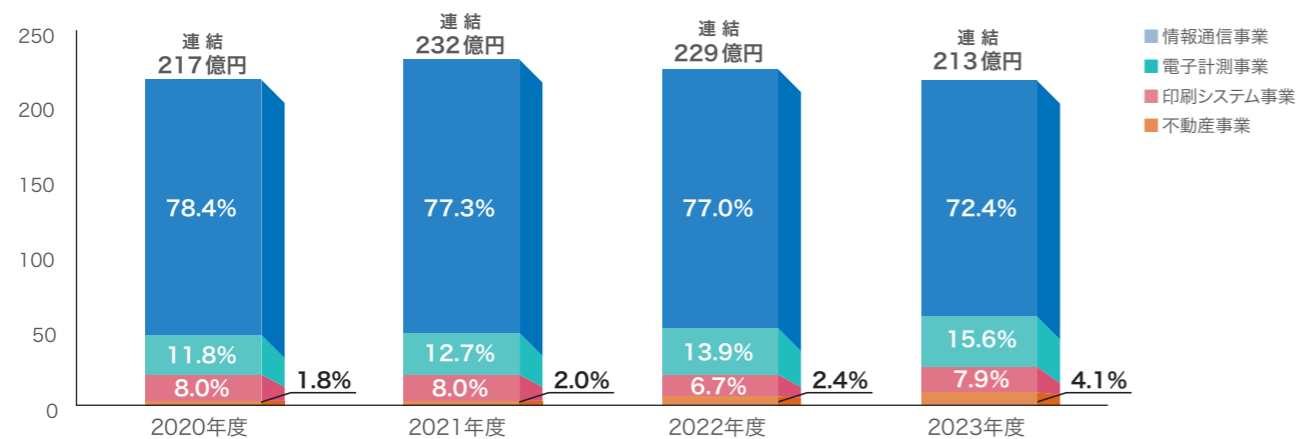
会社概要

社名	岩崎通信機株式会社
英文名	IWATSU ELECTRIC CO., LTD.
設立	1938年(昭和13年)8月14日
本社所在地	東京都杉並区久我山1丁目7番41号
電話/FAX	TEL:03-5370-5111 FAX:03-5370-5115
事業内容	・情報通信、印刷システム、電子計測分野における機器製造及び商品サービスの提供 ・不動産の賃貸等
代表者	代表取締役会長 佐々木 秀吉 / 代表取締役社長 木村 彰吾
資本金	78億円(2024年3月31日現在)
売上高	連結213億円(2023年度)
従業員数	単体643名/連結789名(2024年10月1日現在)
主要金融機関	株式会社三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行
建設業許可	国土交通大臣許可(般-3)第26305号 電気工事業、電気通信工事業
親会社	あいホールディングス株式会社

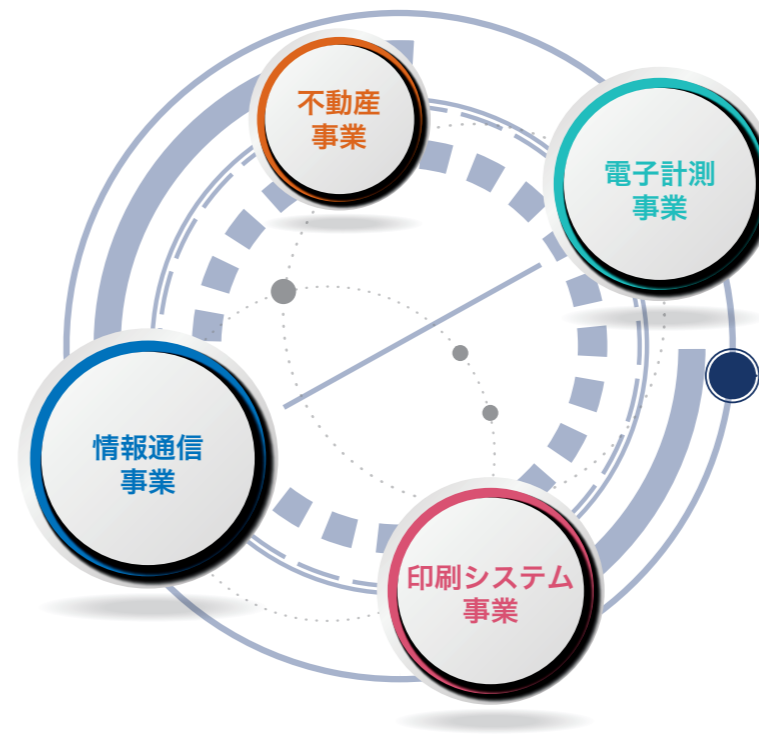
役員・執行役員 (2024年10月25日現在)

代表取締役会長	佐々木 秀吉	常務執行役員	下村 規夫
代表取締役社長 社長執行役員	木村 彰吾	執行役員	笠村 浩之
取締役 常務執行役員	相浦 司	執行役員	相馬 智浩
取締役 執行役員	時田 英典	執行役員	遠藤 信一
取締役 執行役員	大川 毅裕	執行役員	石山 智一
取締役	山本 裕之	執行役員	石毛 孝宗
監査役	佐藤 修	執行役員	岡田 浩紀

売上収益



岩通グループの事業



IWATSU GROUP

販売	電通サービス(株)
修理	東通工業(株)
印刷・化学	岩通ケミカルクロス(株)
ソフトウェア	岩通ソフトシステム(株)

岩通グループ主要営業品目

情報通信事業

ビジネスホン、PBX、構内PHSシステム、スマホ連携ソリューション、ページングシステム、電話機、ネットワーク関連機器、コンタクトセンターソリューション、CRMソリューション、システム運用監視サービス、データセンターサービス、データ分析ソリューション、セキュリティソリューション、資産管理ソリューション、BCP対策ソリューション、無線認証システム、緊急通報装置、LED照明調光システム、エネルギーマネジメントシステム、太陽光発電監視システム、遠隔残量監視システム、Webコミュニケーションツール、工場IoTソリューション

電子計測事業

デジタル・オシロスコープ、各種プローブ、デジタル・マルチメータ、ユニバーサル・カウンタ、信号発生器、教育実習装置、熱伝導率測定装置、位置決め変位計、非接触変位計、非接触厚さ計、放射線量モニタ、アイソレーションシステム、半導体カーブトレーサ、高電圧CV測定システム、静電ノイズ試験装置、磁性材料特性測定装置、パターン・ジェネレータ、パワーアナライザ、周波数レスポンス&インピーダンスアナライザ、ベクトルネットワークアナライザ、アンプ、航空宇宙機器システム、電子部品(コネクタ、スイッチ、ハーネス)、赤外線サーモグラフィ

印刷システム事業

デジタル製版機、名刺カッター、ラベル印刷機、インクジェットプリンタ、搬送機、関連消耗品、ケミカル関連商材、受託加工

不動産事業

不動産の賃貸等

情報通信事業

Business Communication System

音声・データ通信の進化とともに、
次世代の情報通信ビジネスを牽引します。

電話機メーカーとして電電公社とともに高度成長期を支えてきたIWATSUは、1985年のNTT誕生と通信自由化を機に、より幅広い情報通信機器の開発・販売へと新たな歩みをスタートさせました。

1960年代、業界に先駆けてビジネスホンを手がけた進取の気風は、その後も連綿と受け継がれ、近年では、コードレス・IP技術といった先端ニーズにもいち早く対応。

高い技術開発力とグループ力で次世代の情報通信ビジネスをリードし続けています。

① ビジネスコミュニケーションの進化に対応し、 IP技術による最先端のテレフォニー環境を創造

目まぐるしく変化するビジネスコミュニケーションの進化に対応するためには、ビジネスホンもお客様のビジネスに等しく変化し、対応できるものでなければなりません。

求められているのは、音声・データ・モバイル・ネットワークのすべてを統合し、幅広い拡張性と揺るぎない信頼を備えたIP技術による最先端のテレフォニー環境の創造です。

IWATSUは、あらゆるワークスタイルやビジネスシーンを想定し、ビジネスにおける最適かつ最大限のパフォーマンスを発揮できるシステムを創造していきます。

① 多様な業種の、様々な場面で求められる要望に、 柔軟に対応するシステムを構築

音声・データ・モバイル・ネットワークのすべてを統合することのできる最先端の情報通信技術を独自のノウハウによってフル活用し、一般オフィスから、プラント・工場・量販店・病院・介護施設などの特定市場まで、お客様の多様なニーズにお応えすることのできる柔軟なシステムを構築しています。

お客様のビジネス環境に優れたコストパフォーマンスを提供するとともに、安心してご利用いただくことのできる信頼のコミュニケーションシステムを提供します。

① お客様のビジネスを支えるコミュニケーションシステム

「生産性向上をサポートするコミュニケーションツール」を商品コンセプトとした「Frespec II (フレスペック 2)」

Frespec II
フレスペック II

Frespec IIはLEVANCIOの後継機種で、従来に比較し大幅な小型化(容積は約54%削減・最大消費電力は20%以上削減)を図り、コードレスシステムの機能強化とともにIP対応やクラウド連携機能を充実させ、快適・自由なオフィス環境を実現します。

当システムは、事業規模の成長に合わせて1,024ポートまで拡張可能で、オフィス環境の変化に柔軟に対応し、お客様のニーズに合わせ様々な提案ができるシステムです。



小規模事業所向けオフィスの悩みを解決するビジネスホン「Frespec-s(フレスペック-エス)」

Frespec-s
フレスペック-s

LEVANCIO-Sの後継機種で、「オフィスのDX化を実現するコミュニケーションツール」を商品コンセプトとして、スマートホン/コードレス収容、IP対応、クラウド連携機能を充実させ、快適・自由なオフィス環境を実現します。また中・大規模事業所向けのFrespec IIとの連携が強化され、拠点毎にFrespecシリーズとして最適なシステム規模の選択が可能です。Frespec-sはオフィスにクオリティを、ビジネスにユーザビリティを提供します。



様々なビジネスニーズにワンストップで対応するコードレスシステム「DIGIX(ディジックス)」

DIGIX

音声通話による構内コードレスシステムの活用はもとより、作業連絡のための無線機能や、緊急時における安全確保のための機能などコードレスシステムに求められるニーズを多彩に実現し、お客様のビジネスを強力にサポート。お客様の業務形態に合わせてフレキシブルに対応できるデジタルフィールドコミュニケーションシステムを構築します。



情報通信事業

Business Communication System

最適化したコンタクトセンターやクラウドサービスで企業と顧客のコミュニケーションを創造します。

クラウドサービス・コンタクトセンターシステム構築を事業基盤とし、多くの成長性、先進性を兼ね備えた国内外のシステムを融合させ、より高い満足と付加価値をお客様に提供します。

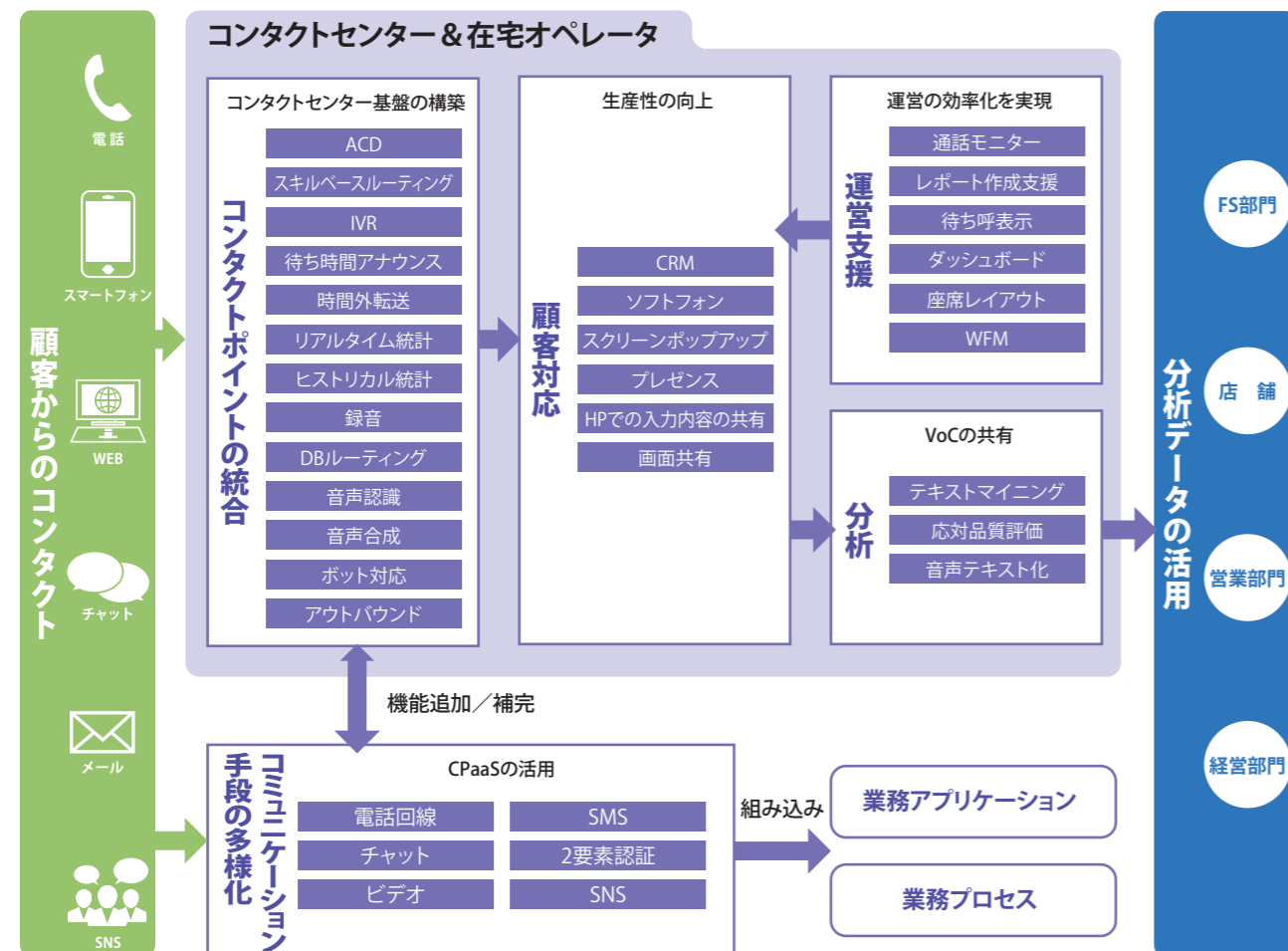
「企業とその顧客、双方が満足を得られるようコミュニケーションを最適化し両者の発展を支援する」

「社会に貢献できるソリューションを創造する」を事業目的とし、

確かなインテグレーションと迅速な対応でお客様をサポートいたします。

技術力、開発力、プロジェクトマネジメント力をベースとした顧客満足度を向上させるソリューション

通信機器メーカーとして培った音声通信技術、お客様からの要望をもとに開発した数々のオリジナルアプリケーション、多くの導入実績など、IWATSUの強みである技術力・開発力・プロジェクトマネジメント力を生かして、顧客満足度の最大化を実現します。



① IWATSUのソリューションポートフォリオ

コンタクトセンターソリューション

コンタクトセンターインフラのクラウド化およびハイブリッド化支援

これまで、コンタクトセンターにおいて、公共、金融業界のミッションクリティカルなシステムや2,000席を超えるシステム、200拠点以上を管理するマルチサイトシステムなど、約500のシステム構築に携わってまいりました。また、世界でトップシェアを誇るアパイア社、ジェネシスクラウドサービス社(以降、ジェネシス社)の製品を国内のお客様向けに最適化するツールも開発しています。ジェネシス社のクラウドサービス向けには、オペレータの管理を効率化する「IW-VisualBox」をリリース。お客様のご要望にお応えする最適なインフラをご提供いたします。



デジタルシフト対応・AI活用で、コンタクトセンターの高度化を支援

IWATSUでは、電話・メールだけでなくチャット、SMS/SNSを含めた一元的な受付はもちろんのこと、チャンネルを問わずシームレスに対応できるデジタルチャネル化を支援しています。また、昨今は、AI・FAQを活用した自動応答やオペレーション効率化の仕組みも実績が増えました。クラウドをベースとしたサービス提供で、初期コストの抑制やハードウェアに依存しないインフラ構築を推進しています。Amazon社やGoogle社などが提供するクラウドサービスも適宜、ソリューションに組み入れながら、コンタクトセンターのステップアップを支援いたします。



Blue Commpaasが推進するビジネスコミュニケーションのクラウド化

消費者動向の流動性が増す中、企業は市場ニーズに応えるスピード感やAIを中心とした自動化が求められています。あらゆるサービスがインターネットに接続できる社会の中でAPIを活用したサービス「Blue Commpaas」をリリースしました。電話回線機能からチャットやSMS、ビデオといったチャネル機能、それらをパッケージ化したボイスポットアプリなどをクラウドで提供。今後は小規模コールセンター向けサービスや音声認識・要約などのAI関連機能など、DXを推進する各種サービスを展開予定です。



情報通信事業

Business Communication System

様々な市場や業種に向け、
業務・現場の課題解決を支援する
「IoTサービス」を提供します。



IWATSUは、従来のビジネスモデルから新しいビジネスモデルへの変革を目指し、市場の変化にマッチしたサービスの開発を進めております。
「無人化」「少人化」「効率化」を実現可能な「IoT」商材を軸とした働き方への変革を推進するサービスの提供により、業務・現場の課題解決に貢献します。

遠隔監視センシングシステム 現場の声から生まれた「EyeOwl (アイオール)」システム

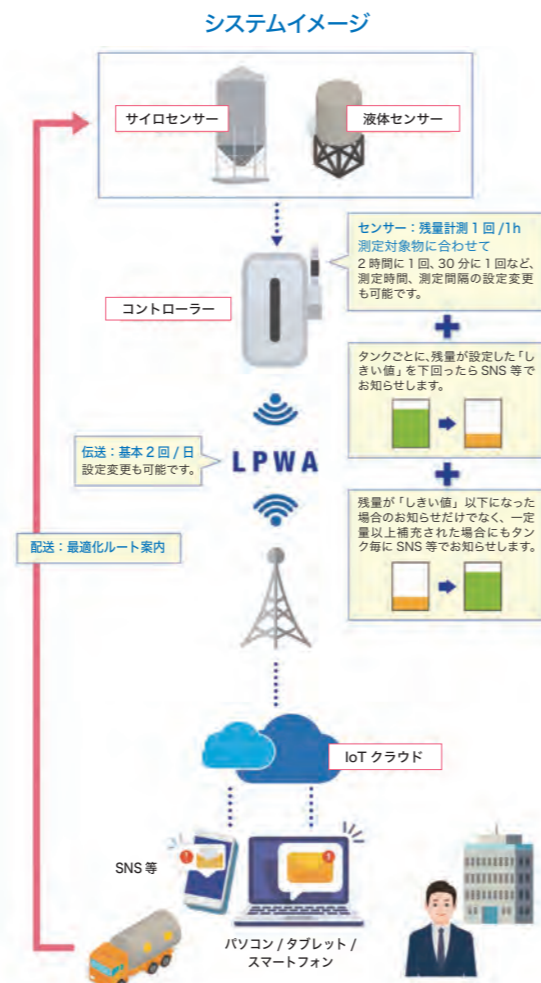
遠隔監視センシングシステム



屋外に置かれた燃料タンクや各種タンク内の残量情報を無線(LPWA:省電力広域無線技術)を用いてクラウドへ伝送することにより、離れた場所からの残量確認及びAIを用いたデータ分析を可能とします。

タンク、サイロの残量を遠隔で可視化 燃料などの効率的配送を実現

タンクに設置されたセンサーによって、燃料や廃油の残量を測定し、IoTクラウドを通じて、パソコンや手元のスマホ、タブレットで確認することができます。
また、測定値をリスト・グラフ化することで、各タンクへのルートを表示し、最適な配送・回収計画の作成にも貢献いたします。燃料や廃油の他に、畜産業界における飼料補充や各種施設管理への活用も可能です。人手不足や、それに伴うスタッフへの過重負担、または業務ロス、非効率化。現在さまざまな業界が抱える悩みを一つ一つ解決していくために、IWATSUは「私たちのIoTは「愛」でできている」をモットーに、IoTの力で応えてまいります。



メーター自動読み取りソフトウェア「計器読み像」

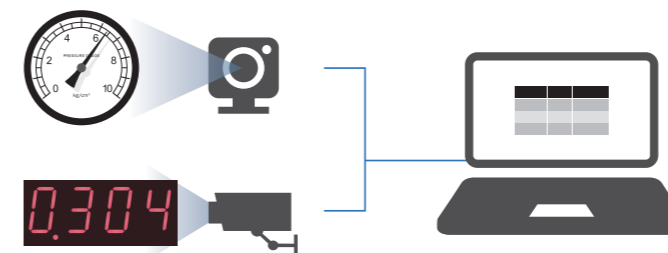
特許取得済



既設のアナログメーターや7セグメーターの読み取り/記録を自動化し、検針や点検業務を手軽に効率化します。

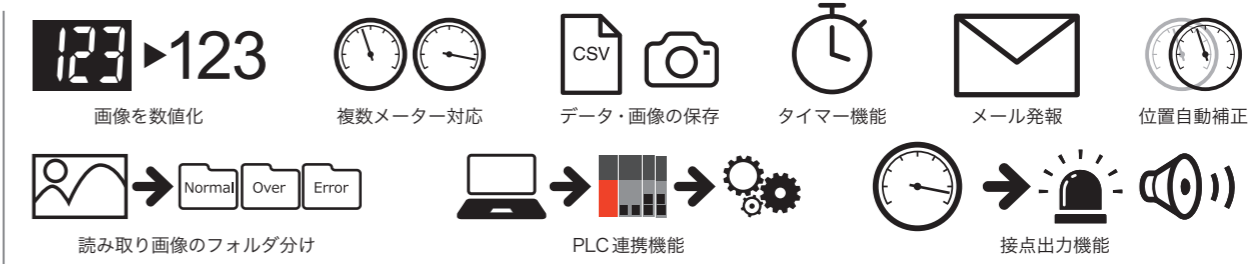
今まで、「人」が定期的を実施していたメーターの数値確認の自動化・無人化により、業務の効率化と人件費の削減に繋がり、ヒューマンエラーの防止も実現します。また、「しきい値」の設定により、異常時のメール発報に加え、PLC連携による機器制御、接点出力機能を使い非常灯や放送設備に信号送信など、設備異常の早期発見・対処が可能となり、被害拡大を防ぐことが出来ます。

機器構成



- 既存設備に後付け可能
 - 人手不足対策・ミス軽減・点検頻度向上
 - 無人化監視・BCP対策
 - 統計傾向による予兆診断/トラブルの未然防止
- 準備するのは市販のカメラとWindowsPCだけで、すぐに常時監視が実現できます。

主な機能



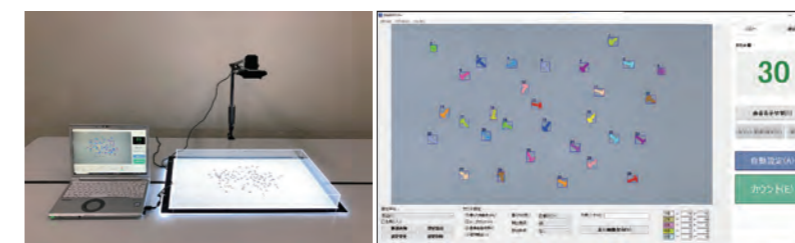
対応メーター



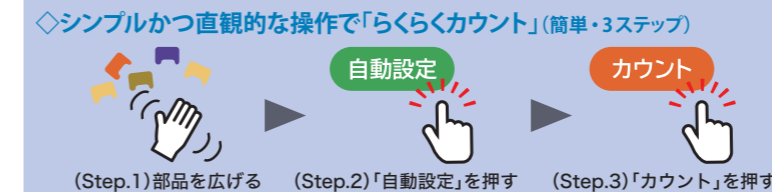
画像解析により部品数を自動カウントするソフトウェア「部品数カウンター」 特許取得済 部品数カウンター

部品を重ならないようにトレース台に置くだけ、シンプルなボタン操作のみで、パソコンに不慣れな方も利用できます。目視点検/記録にかかる労力を削減し、働き方改革を実現。人手不足を解消します。

基本構成



- 多様な部品に対応
金属部品 ネジ、ピン、ワッシャなど
樹脂部品 金型部品 プラスチック部品など
電子部品 ひげ足がある部品、極小部品など
- エビデンスが残る
カウント結果画像を保存することができます。また、バーコード/QRコードリーダーで読み取った情報を画像ファイル名に含めることができるので、画像ファイルを簡単に検索することが可能です。



電子計測事業

Test and Measurement Equipment

研究開発における最先端の測定ニーズに、
世界レベルの技術でお応えします。

日本で初めて、オシロスコープを世に送り出したのはIWATSU。以来70年、高性能化・多機能化を追求したIWATSUの計測器は、現在、産業界をはじめとするあらゆる研究開発や教育の場で利用されています。アナログ技術とデジタル技術双方の特長を活かした総合的な製品ラインアップを擁し、世界レベルの測定技術によって、広汎な企業の研究開発活動を支えるとともに、明日のエレクトロニクス産業に大いなる可能性をもたらしています。

次世代のテクノロジーを支える IWATSUの電子計測事業が持つ大いなる可能性

省エネルギー交通手段として進化を続けるハイブリッドカーや電気自動車、高速鉄道、また風力や太陽光を商用電力に変換するパワーコンディショナ、これらの基幹となるインバータのキーデバイスであるパワー半導体と磁性材料の研究開発には、常にIWATSUの電子計測技術が深く関わっています。

新しい技術開発を支援する「高い測定性能」と、省力化のために測定能率を向上させる「高い操作性」、及びこれらを支える「高い信頼性」の3つの要素をバランスよく合わせ持つIWATSUの電子計測技術。IWATSUはこれからも、新しい電子計測の技術開発と品質向上に努め、明日のエレクトロニクスの発展に貢献していきます。

最先端の計測ソリューションで、 宇宙開発から日常の保守点検まで幅広いニーズに対応

IWATSUの電子計測事業では開発から生産・販売・アフターサービスまで、一貫してお客様のニーズにスピーディーに対応。「パワーエレクトロニクス計測」で社会貢献することをめざして、アプリケーションを中心とした計測ソリューションに取り組んでいます。一方で高い信頼性を活かす分野が、わが国の宇宙開発事業への貢献です。宇宙航空研究開発機構(JAXA)のH-IIA/H3ロケットにおける発射用点検設備の地上用電気系システムにて、打ち上げ制御に関わるシステムの一部を担当。日本の宇宙開発事業の一翼を、IWATSUの技術陣がサポートしています。

多彩なプローブソリューションで、あらゆる測定に対応

最先端の機器を構成する電気回路は、小型高密度化・広温度範囲化・高周波化・高電圧化・大電流化と従来に比べて測定自体が非常に難しくなっています。IWATSUの持つプロービング技術は、その幅広いラインアップにより様々なニーズに合わせたソリューションを提供していきます。



世界レベルの研究開発を支える計測器

宇宙開発と計測

種子島宇宙センターに設置されている「H-II A/H3ロケット発射用点検設備電気系システムAGE」は、H-II A/H3ロケットの打ち上げ制御に関わる制御等を行っています。



©JAXA

パワー半導体の測定を担う 半導体カーブトレーサ CS-8000シリーズ

最大ピーク電圧5kV、最大ピーク電流2,000Aの高電圧・大電流に対応した新シリーズ。全世界のパワーデバイスの開発・生産や、自動車用インバータ・電源設備などの高電圧・高周波駆動化による省エネルギー化に貢献します。



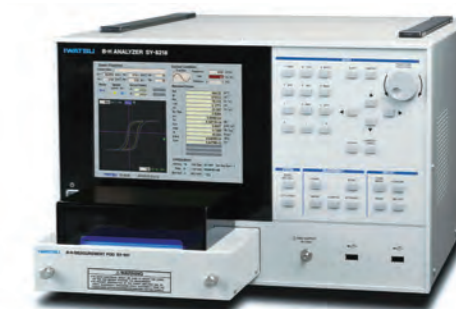
高分解能・広帯域デジタル・オシロスコープ DS-8000シリーズ

周波数帯域1GHz、最大8チャンネル、垂直分解能12bitで電気信号を確実に捕らえる、IWATSUオシロスコープの最高峰モデル。優れた基本性能は、パワー半導体デバイス、電気機器などの省力化の開発・生産に留まらず、物理分野の計測にも貢献しています。



磁性体の磁気特性測定に貢献 B-Hアナライザ SY-8200シリーズ

高速鉄道や、電気自動車に使われるモータ、トランスの開発・研究・試験に不可欠の計測器として長く貢献してきました。今後も高効率化を目指す研究者、技術者に役立つため、高性能化を目指してまいります。



印刷システム事業

Printing System

従来の印刷システム事業に加え、そこで長年培ってきた「化学」の分野における研究開発力、技術力をさらに発展させることで、新たな市場を創出する化学技術関連商材の開発・販売に取り組んでいます。

印刷システム製品



デジタルラベル印刷機
LabelMeister (ラベルマイスター)

デジタル製版機
エレファクス LP-630Xe

化学技術を活用した製品・技術開発

電気印刷®

電気印刷®はフィルムに電気をプリントして回路を作る新たな印刷技術です。環境にも配慮した「フルアディティブ法」で、インクジェットのご1/10の細線印刷が可能。タッチパネルや透明ヒーター、透明アンテナ等への技術応用に向け研究開発しています。



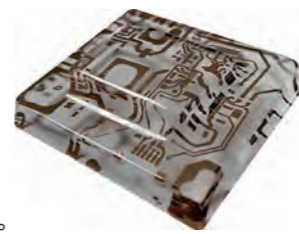
※「電気印刷®」は(株)電気印刷研究所の登録商標です。IWATSUグループは電気印刷研究所と共同で研究開発しております。

■ 環境に配慮した製法

一般的なエッチング工程と比較して銅の使用量、水の使用量が少なく、クロム等の有害物質を使用せずに製作できます。

■ 3D(3次曲面)にも対応

フィルムを3次曲面に形成後に銅メッキできるため、断線の無い3D回路の作成が可能になります。



透明導電材料

有機導電性塗料 TC-07は、導電性ポリマー「PEDOT:PSS」を利用し、独自に塗料として設計した「機能性材料」です。

基材に薄膜コーティングすることで透明性の高い導電膜を形成し、様々な用途に活用できます。

■ 用途の例

- 帯電防止：電子部品トレイ、帯電防止フィルム、帯電防止接着剤 等
- 電極：有機ELディスプレイ用電極、各種タッチセンサー用電極、フレキシブルエレクトロニクス用電極 等
- ヒーター：結露防止フィルム、保温フィルム 等

※お客様の用法・用途に合わせ、「抵抗値」や「性状」をカスタマイズ可能

■ 柔軟性にすぐれ、曲げ/延伸加工が可能

有機ポリマーが主成分のため、曲げ加工/延伸加工しても導電性を維持します。



導電塗料「TC-07」

導電フィルム「TC-F」

ESGへの取り組み

Environment・Social・Governance

社会の変化に適応し、より多くの価値を提供する会社であるために

— 当社はESG経営の推進によって長期的な企業価値向上と持続的成長の追求に努めてまいります —

サステナビリティ基本方針

私たちは、企業理念のもと、人やモノを繋ぐコミュニケーション技術の提供により企業や企業で働く人々の成長・発展を支援し、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します

賛同イニシアチブ・外部評価

サステナビリティデータブックの発行



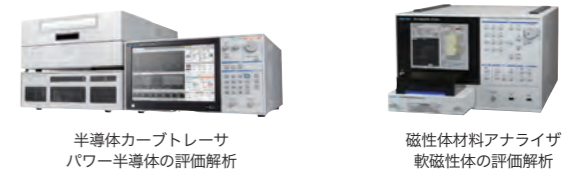
ESG関連の最新の取り組み状況・実績については年に1度「サステナビリティデータブック」を発行し、公開しております。



サステナビリティデータブック
(2024年度版)はこちら

製品を通じたカーボンニュートラル社会への貢献

電源効率化に寄与する電子部品や、電気自動車等のパワーデバイスの開発に必須である、パワーエレクトロニクス計測技術により、社会全体の電源効率向上に貢献。



半導体カーブトレーサ
パワー半導体の評価解析

磁性体材料アナライザ
軟磁性体の評価解析

持続可能な社会の実現に向けた事業活動

- ・温室効果ガス排出削減目標の設定と実現に向けた各種取り組み
- ・調達活動における環境保全、人権尊重への配慮を目的とした「サステナビリティ調達ガイドライン」「グリーン調達基準」の制定

地域社会とのコミュニケーションと共生の推進

- ・春秋の交通安全運動支援
- ・チャリティーイベントへのボランティア参加
- ・工場周辺のクリーンアップ活動
- ・災害時の緊急物資支援拠点
- ・地域行政との連携（警察・消防等）等



生産

Manufacture

部品調達～生産～物流までのグローバルサプライチェーンマネジメントと品質管理により、お客様に信頼される製品を提供します。

岩通グループ生産拠点

**福島事業所
会津工場 (福島県会津若松市)**

電子計測機器製造、修理、校正
福島県会津若松市住吉町 23-7
TEL : 0242-26-4311

**福島事業所
須賀川工場 (福島県須賀川市)**

情報通信機器・印刷関連機器・電子計測機器製造、
板金加工部品の製造、受託生産サービス (EMS)
福島県須賀川市前田川字宮の前 216-1
TEL : 0248-75-5111

**福島事業所
泉崎工場 (福島県西白河郡泉崎村)**

情報通信機器・印刷関連機器・電子計測機器製造、
板金加工部品の製造、受託生産サービス (EMS)
福島県西白河郡泉崎村大字関和久字石名田 91
TEL : 0248-53-3131

**岩通ケミカルクロス株式会社
栃木事業所 (栃木県下野市)**

製版機用マスターペーパー・現像液・関連消耗品の製造、
磁気スライブ加工、防錆紙の製造

**香港駐在員事務所
(香港特別行政区)**

国際部品調達 (中国・台湾系部品)

販売拠点

Sales base

国内に広がるネットワークで全国を効率的にカバーする販売体制。

全国に広がる販売ネットワーク

岩崎通信機株式会社

- 本社** TEL : (代表) 03-5370-5111
東京都杉並区久我山 1-7-41
情報通信 TEL : 03-5370-5530
NTT 営業 TEL : 03-5370-5234
IoT/画像認識 TEL : 03-5370-5288
IoT/遠隔センシング TEL : 03-5370-5252
コンタクトセンタリユーション TEL : 03-5370-5152
電子計測 TEL : 03-5370-5474
コンポーネント TEL : 0120-228-052
印刷システム TEL : 03-5370-5476
電子機器製造受託 TEL : 03-5370-5503
- 中部支店**
愛知県名古屋市中区丸の内 3-7-33
(アカモンビル)
情報通信 TEL : 052-950-2821
電子計測 (中日本) TEL : 052-228-3834
- 西日本支店**
大阪府大阪市西区西本町 2-3-6
(山岡ビル)
情報通信 TEL : 06-4394-7410
電子計測 TEL : 06-6535-9200
コンポーネント TEL : 0120-228-052
NTT 営業西日本支店 TEL : 06-6532-2804
- 北海道支店**
北海道札幌市東区北8条東3-1-1
(宮村ビル2F)
情報通信 TEL : 011-702-2666
- 東日本支店**
埼玉県さいたま市大宮区大成町 1-181
(宝来ビル2F)
情報通信 TEL : 048-658-9426
- 千葉営業所**
千葉県千葉市中央区末広 4-9-4
情報通信 TEL : 043-266-0800

電通サービス株式会社

- 本社**
福岡県福岡市博多区東比恵 2-2-6
TEL : 092-431-1231
- 北九州営業所**
福岡県北九州市小倉北区重住 3-2-12
TEL : 093-923-1231
- 久留米営業所**
福岡県小郡市大保 1217-1-101
TEL : 0942-65-8391

岩通ケミカルクロス株式会社

- 本社**
東京都杉並区久我山1-7-41
TEL : 03-5344-9211
- 西日本営業所**
大阪府大阪市西区西本町2-3-6(山岡ビル)
TEL : 06-6110-1101

岩通グループ

Iwatsu group

販売

電通サービス株式会社

〒 812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 2-2-6
TEL : 092-431-1231 FAX : 092-472-6363

修理

東通工業株式会社

〒 192-0041 東京都八王子市中野上町 2-20-8
TEL : 042-626-6311 FAX : 042-626-8400

印刷・化学

岩通ケミカルクロス株式会社

本社 〒 168-8501 東京都杉並区久我山 1-7-41
TEL : 03-5344-9211 FAX : 03-5370-5494

栃木事業所 〒 329-0502 栃木県下野市下古山 3309
TEL : 0285-53-1233 FAX : 0285-53-5713

ソフトウェア

岩通ソフトシステム株式会社

〒 168-8501 東京都杉並区久我山 1-7-41
TEL : 03-5370-9871 FAX : 03-5370-9850

沿革

History

- | | |
|---|--|
| <p>1930年代</p> <p>1938 ▶ 東京市渋谷区代々木上原町に岩崎通信機株式会社創立</p> <p>1939 ▶ 世田谷区烏山町に新工場完成</p> <p>▶ 搬送電話機・誘導除去強力電話機の製造で鉄道省指定工場となる</p> <p>1940年代</p> <p>1943 ▶ 杉並区久我山に本社・工場完成</p> <p>1944 ▶ 電波警戒機第1号機を東京第1陸軍造幣廠に納入</p> <p>1947 ▶ 3号電話機を通信省に納入</p> <p>1950年代</p> <p>1951 ▶ 4号電話機を電気通信省に納入</p> <p>1954 ▶ 国内初のトリガ式オシロスコープ第1号機を保安庁技術研究所に納入</p> <p>1957 ▶ 株式を東京証券取引所第1部に上場</p> <p>1958 ▶ 新電話機工場完成。電話機月産能力2万台となる</p> <p>1959 ▶ 1号ボタン電話装置を日本電信電話公社に納入</p> <p>1960年代</p> <p>1960 ▶ 久我山に計測器工場完成</p> <p>1963 ▶ 600形電話機を日本電信電話公社に納入</p> <p>1970年代</p> <p>1970 ▶ 福島岩通(株)〈現 福島事業所〉を設立</p> <p>▶ 宇宙関連機器計測システムに参入</p> <p>1974 ▶ 岩通ソフトシステム(株)を設立</p> <p>1975 ▶ 東通工業(株)を設立</p> <p>1980年代</p> <p>1984 ▶ ストレージスコープ用高速蓄積管で科学技術庁長官賞を受賞</p> | <p>1990年代</p> <p>1999 ▶ 国際品質規格ISO9001を認証取得</p> <p>▶ 国際環境規格ISO14001を認証取得</p> <p>2000年代</p> <p>2009 ▶ 電通サービス(株)をグループ会社化</p> <p>2010年代</p> <p>2010 ▶ 個人情報保護に関するプライバシーマークの使用許諾を受ける</p> <p>2013 ▶ 「岩通泉崎メガソーラー発電所」の稼働を開始</p> <p>2016 ▶ 岩崎通信機(株)が岩通販売(株)、岩通計測(株)、メディアコンフォート(株)の子会社3社を統合</p> <p>2020年代</p> <p>2020 ▶ ドイツに計測機器販売の合弁会社「岩通計測ヨーロッパ(有)」を設立</p> <p>2022 ▶ 印刷システム事業関連の生産・販売、化学技術関連商材開発のため、岩通ケミカルクロス(株)を設立</p> <p>2024 ▶ 東京証券取引所スタンダード市場において上場廃止、「あいホールディングス株式会社」の完全子会社となる</p> <p>▶ 岩崎通信機(株)が岩通ネットワークソリューション(株)、岩通ビジネスサービス(株)、岩通マニファクチャリング(株)の子会社3社を統合</p> |
|---|--|

IWATSU

www.iwatsu.co.jp